



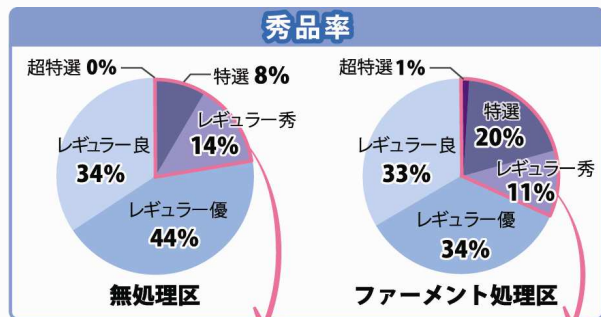
ファーマメント

発酵リン酸液肥
N:P:K = 0.1:3.0:0.3

ファーマメントの特長

水溶性のリン酸で高濃度障害も出にくく、有機態のリン酸が土壤に固定されることなくマイルドな肥効を発揮します。かんきつ・果菜・根菜類などで数年の試験が行われ、**花芽形成期からの使用で、比重・糖度アップ、秀品率・日持ちの向上、腐敗果の減少**など様々な効果が確認されています。

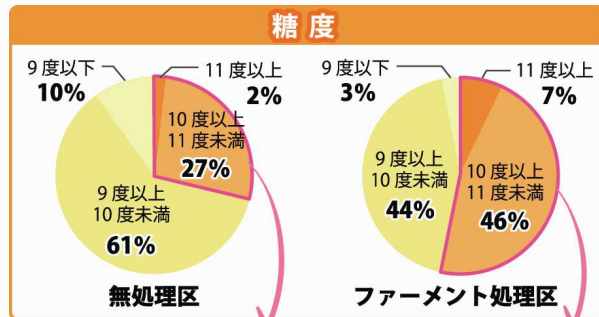
■ 試用試験の一事例 【極早生温州みかん／9月下旬～10月上旬収穫／長崎県】



■レギュラー秀以上の比率

ファーマメント処理区	32%
無処理区	22%

ファーマメント処理区は
対象区の **1.45** 倍



■糖度10%以上の比率

ファーマメント処理区	53%
無処理区	29%

ファーマメント処理区は
対象区の **1.83** 倍

※詳しい事例についてはお問い合わせ下さい

高品質で安定した果樹・野菜作りのための液肥です！

紅心の特長

ファーマメントをベースにカルシウムを配合した液肥です。
色づき始めから2～3回使用することで、厳寒期の果実や、温暖化傾向による温度差の減少で色づきにくくなった果実を、早期に、鮮やかな色に仕上げます。

■ 試用試験の一事例 【ハウスみかん／長崎県】

無処理区



平成21年6月5日

「紅心」処理区



平成21年6月5日

※詳しい事例についてはお問い合わせ下さい

紅 べにころ 心

発酵リン酸カルシウム液肥
N:P:K:Ca = 0.1:1.0:0.1:2.9



発売元：オーガニック・ランド株式会社

福岡市南区塩原 3-17-7 サンシャインシティビル大橋 3 階
Tel: 092-554-8825 Fax: 092-554-8807

IPM 資材館

検索

ネットで検索！

「ファーマメント」、「紅心」に使用されている 発酵リン酸とは？

- 1 リン酸が環状リン酸を形成し、水溶性の低分子で葉面散布でも作物に容易に吸収される
- 2 微生物に取り込まれた有機態のリン酸が、土壌鉱物などに固定されることなく、根酸によって生育に応じて選択吸収されるため、マイルドな肥効を発揮
- 3 通常のリン酸肥料で注意が必要な、高濃度による障害がでにくい
- 4 発酵分解により生成されるアミノ酸、核酸、酵素など補助成分の働きにより低含有量でも確実に効果を発揮

「ファーマメント」使用方法

作物	散布濃度	散布時期
果菜類 (トマト、ナス、ピーマン、キュウリ、イチゴ等)	葉面散布の場合 500 倍 灌水の場合 1,000 倍	育苗時（花芽分化）、定植後7節ほどに成長した時点から7～10日おきに
根菜類 (玉ネギ、人参、ジャガイモ等)		肥大初期より7～10日おきに (ジャガイモは収穫45日ほど前から)
葉菜類 (キャベツ、レタス等)		結球開始時期より7～10日おきに
柑橘類 (ミカン等)		開花期～収穫前まで7～10日おきに
果樹類 (リンゴ、ナシ、サクランボ、マンゴー、ブドウ等)		開花期～収穫前まで7～10日おきに

「紅心（べにごころ）」使用方法

- 1 色づき初め
- 2 2～3分着色の時期
- 3 出荷7～5日前の時期

以上の時期を目安に、作物の状況を見ながら500倍希釈で葉面散布（2～3回）を行ってください。
※柑橘類は2～3分着色の時期から使用をスタートし、1～2回葉面散布を行ってください。

味、見た目、収穫量も

Good!



に！

効果的な使い方

● 花芽形成期～収穫前まで ➡ 「ファーマメント」を使用

● 果実が色づき初めてから（着色が必要な作物へ） ➡ 「紅心」を使用



「ファーマメント」「紅心」取扱上の注意

1. 溶解後は、すみやかにお使いください。
2. 飲料品ではありません。乳幼児の手の届かないところに保管してください。
3. 開封後は、しっかりと密封し直射日光が当たるところは避けて冷暗所に保管してください。
4. 本来の目的以外に使用しないでください。
5. 「石灰硫黄合剤」「アルカリ性農薬」、「マシン油」との混用は行わないでください。
6. 銅剤との混用および接近散布は避けてください。
7. 散布に当たってはマスク、手袋、保護メガネをして散布液を吸い込んだり、直接皮膚に浴びないように注意し、作業後は石鹸等でよく洗い、うがいをしてください。
8. 発酵処理を行っているため沈殿物がある場合がございますが、効果、品質等に問題ありませんので安心してご使用ください（除去して使用ください）。